

建築設備工事業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	ガス器具取付の為に、土間に基礎を作成している時に、裏口に設置された物置に固定されたふきん掛けのふきんを掛けるプラスチック製の棒が広がっていたところを通ろうと、振り向いた際に左目がぶつかり出血した。	39~29	10
2	11~12	被災者（職長）は同僚他2名で伐採作業を行っていた。梯子上でチェーンソーを使い枝払いをしようとした。切ろうとした枝を道路側に落ちない様、他2名がロープで引っ張っていた為切断途中で幹が揺れて梯子上（高さ2.5m）から飛び降り被災した。	35~9	1
2	15~16	個人宅屋根工事で足場を歩いている、上を向いた時、足場の棒が右目の黒目に当たってしまった。	21~9	1
3	8~9	自社資材置場にて車庫増築作業のため、足場を組み立て作業中、1段目を組み立て後、1段の布板（天板）に上がり、資材の引き上げ中に、バランスを崩したため約1.8mの高さから飛び降りたとき、両足の踵を負傷した。	79~9	1
5	13~14	工場にて、集塵機ファンの羽根をモーターから外す時に大ハンマーを打ち損ない（空振り）、ハンマーを持っていた右手薬指をファンのフレームにぶつけた。	63~9	1
5	9~10	エアコンメンテナンス作業場にて、工事に取り付ける床置型エアコンのメンテナンス作業中、左足を室外機に打ちつけ負傷した。	69~29	10
	10~	民家の雨漏修理依頼のため屋根に登り、点検と雨漏箇所を捜索中、狭い箇所を見る		1

5	11	ため屋根瓦にうつ伏せになった時に胸を打ち、胸に痛みが出た。	58	～ 9
7	4～5	改良工事において、PCパネルの撤去・設置の作業終了後、レールスクーターに添乗し、線路退出箇所へ移動中、眠気に襲われ、レールスクーター床面から右足を落したため、スラブ版角に接触し、足を骨折した。	40	～ 29
9	8～9	ベランダの防水工事作業をする為、足場からベランダの手すりに渡り高さ80CMから建物側に飛び降りた時転倒し、右足首をひねってしまい右足関節骨折したものである。	62	～ 9
10	9～ 10	配管の改修工事のため、脚立に登って作業をしていた際、脚立の上でバランスを崩し、1m程の高さから飛び降りたが、着地した所に直径15cm程の石があり、左足を打ち、左足首を受傷した。	40	～ 9
11	13～ 14	2番ホールティーフランドから約230YDのフェアウェイの真ん中付近の丸い排水枡に右足をとられ転倒した。その後、業務を続行したが、業務終了時点で右足首に痛みが増してきた。	23	～ 49
11	16～ 17	自立の出来ない入居者をベッドから車椅子への移乗を行っている時、かなり体重の重い入居者で、全く身体を支えることが出来ない方の為、被災者一人の力で車椅子へ移乗させなければならない。両腕を相手の脇の下に入れて運ぶのだが、ずり落ちそうになり、無理に腰に力を入れて支えた為、腰痛が起きたのだと思われる。	26	～ 29
11	11～ 12	会社にて脚立に乗ってパイプが置いてある棚を整理中、バランスを崩し落ちそうになったために、ジャンプして着地したところ、右足の踵の骨を骨折してしまったものである。	54	～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html